

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

<b>事業所名</b>	グループホーム敬愛
日付	平成16年12月24日
<b>評価機関名</b>	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	特別養護老人ホーム等での痴呆性高齢者介護歴 9年 老人保健施設での相談援助業務歴 5年
<a href="#">自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）</a>	
<a href="#">評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）</a>	
<b>事業者のコメントを見る</b> （評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）	

### 外部評価の結果

<b>講評</b>
全体を通して（特に良いと思われる点など）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣が住宅地であり、また、スーパーや喫茶店など、利用できる社会資源に恵まれています。</li> <li>・ユニット内が明るく開放的で、散歩や外出を日常生活の中に積極的に取り入れておられます。</li> <li>・開設して1年ほどですが、職員の中にしっかりとした痴呆ケアに関して理解ある職員がおり、管理者も含め、あらたに取り組もうとする姿勢があります。</li> <li>・個別の関わりを重視しておられ、それぞれの家族の要望を受け入れるようにされています。</li> </ul>
特に改善の余地があると思われる点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者は自分の痴呆ケアに対する理念を、職員にわかりやすく説明し、スタッフ全てが理念を共有できるよう指導する必要があると感じました。</li> <li>・建物的にそれぞれのユニットの区別がつきにくい点については、今後の検討が必要ではないでしょうか。また、ユニット内リビングフロアでの家具や植物の配置も検討する必要があるのではないのでしょうか。</li> <li>・管理者や職員の間で、より良い痴呆ケアへの取り組みの視点をしっかりと共有し、理解のある職員の指導を受け入れ、職員それぞれが常に勉強するという姿勢を持つことが必要ではないのでしょうか。</li> <li>・職員間に痴呆ケアに対する技量の差がみられますので、どの職員も入居者を理解し、もっと入居者に寄り添うようなケアが展開されるよう努力が必要ではないのでしょうか。</li> </ul>

### 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者一人ひとりへの個性の高い関わりを目指しています。</li> <li>・一人ひとりのその人らしい生活を構築できるように援助しようとしています。</li> </ul>		

### 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者一人ひとりの生活歴等を参考にしながら、個人々人への関わり方を検討し、推し進めていこうとしています。</li> <li>・しかし、2つのユニットが一体となりがちな建物の構造です。一つの玄関から一方のユニットのリビングが丸見えで、もう少し家具やインテリアの配置の工夫で、それぞれのユニットのリビングで落ち着いて生活できる場所（居室以外に安心していられる場所）を作れるよう考慮する必要があるのではないのでしょうか。</li> </ul>		

### ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

### ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の生活歴を参考にしながら、本人の希望や家族の意向などを聞き取り、できる限り希望に沿って、その人にとっての安定した生活を目指しています。</li> <li>・入浴や排泄誘導などをそっと行うように心がけています。</li> <li>・しかし、スタッフの努力が無にならないよう、排泄場所でのプライバシーの確保が図れるように、ドアをできるだけ改善してほしいと思います。</li> </ul>		

### 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業界団体へ参加し、研修等へ参加したり、痴呆ケアに関して理解の深い職員を雇用するなど、より良いケアを目指そうとしています。さらに、痴呆ケアに関する専門性をレベルアップさせるうえで、スタッフの努力と学習、それらを支える管理者の努力が必要ではないのでしょうか。</li> </ul>		